

安倉地区における宝塚市立病院等への移動手段導入のための 実証実験の結果報告

1 背景

市内を運行する路線バス事業者は、地域の交通を維持するために令和 4 年 4 月に利用状況に応じた路線改編を実施し、一部地域の方々は宝塚市立病院への路線バスが減便となりました。このような課題解決を図るため、安倉地区において宝塚市立病院や福祉施設、公共施設等への移動手段導入のため実証実験を実施しました。

2 事業概要

- ・実験期間：10/1（火）～11/29（金）の 2 ヶ月間
- ・運行形態：区域運行 事前予約制（電話）（乗降場所としては、33 箇所）
- ・運行時間：8 時 30 分～16 時 15 分 平日のみ
- ・利用対象：①70 歳以上、②障害のある方、③妊婦の方
- ・運賃：無償（道路運送法上の許可を要しない運送となるため、運賃が無償となる）
- ・運行事業者：株式会社ウェルビーイング阪急阪神（介護事業者）

3 利用実績結果

安倉地区における宝塚市立病院等への移動手段導入のための実証実験（42 日間）の利用状況は、合計 619 人、1 日当たり平均 14.7 人/日（介助者を含む）でした。また、実証実験期間中、利用登録された方は合計 110 人でした。利用としては、同じ方が複数回利用されており、期間中 20 回以上利用された方もいました。

また、各乗降箇所としては、宝塚市立病院バス停が最も利用されており、山本地区コミュニティバスと同様、宝塚市立病院への輸送に対する需要がありました。また、阪急小林駅の最寄りの「小林 5 丁目公園」が 2 番目に多く、駅への移動として利用されているものと考えられます。

